

## 【釜石市】 校務DX計画

### 1 現状

本市では、令和2年度に統合型校務支援システムの導入や、汎用クラウドツール等を活用し、校務DX化を進めてきた。

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検」の実施結果では、「職員会議等で資料をクラウド上で共有しペーパーレス化」については、半分以上している学校が92.9%と成果が出ている。

一方、業務でのFAX利用や、押印を廃止しておらず紙で提出を求めている書類がある等、全ての学校で達成されていない項目も見られるため、業務効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要がある。

### 2 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題等について

特に以下について各学校と連携を図りながら校務DXの推進に取り組む。

#### (1) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果から、対象の14校中6校でFAXの原則廃止が実現しているが、慣例的にFAXを使用してやり取りしているものも多いため、FAXの原則廃止を引き続き呼び掛けていく。また、押印・署名が必要な書類が多くある。教育委員会としては、FAXや押印等について、制度・慣例の見直しを行うとともに、FAXの送付や押印を求めている関係団体、事業者を把握し、制度・慣行の見直しを図ることについて検討する。

#### (2) GIGA環境・クラウドサービスの一層の活用

自己点検の結果から、GIGA環境やクラウドサービス利用が進んでいる業務もあるが、利用していない業務が多く存在する。共有フォルダのクラウド化や業務活用への手順書の作成、ICT支援員のサポート、事例集の共有等を行い、更なる活用を推進する。

#### (3) 校務支援システムへの名簿情報の入力

名簿情報の不必要な手入力なくなるよう、学齢簿のデータをインポートするなど、教育委員会と学校の役割を明確化し、効率的に校務支援システムを活用する。

#### (4) 次世代校務支援システムの導入に向けた校務系ネットワークの検討

校務用ネットワークと教育用ネットワークの統合、教員用端末の一台化を目指し、共有フォルダのクラウド化や対応したセキュリティ環境の整備を進めていく。

### 3 校務DX化の今後の取組計画

2の課題に基づき、下記の計画のとおり校務DX化を進めていく予定である。

課題	計画	期限
①FAX利用の原則廃止	各校でFAXのやり取りをしている事業者等をリスト化し、メール等でのやり取りを検討する。	令和8年度
②押印の原則廃止	現在、押印を求めている書類を洗い出し、押印不要の様式に変更する。	令和8年度
③クラウドサービスの利活用	校務への活用方法、事例紹介、ICT支援員のサポート等を行い、業務のペーパーレス化を目指す。	令和8年度
④校務系ネットワークの検討	共有フォルダのクラウド化や教員用端末の一台化、それに対応したセキュリティ環境の整備を進めていく	令和10年度